

環境活動レポート 2016

対象期間 : 2016年7月～2017年6月
(平成28年7月～平成29年6月)



静岡県磐田市 掛塚灯台

2017年 7月 1日
小笠原マル昇株式会社

目 次

1.	組織の概要	1	～	2
2.	実施体制	3	～	4
3.	基本理念及び環境方針	5		
4.	環境目標	6		
5.	環境活動計画	7	～	8
6.	環境活動計画の取り組み	9		
7.	環境関連法規への遵守状況	10		
8.	代表者による評価と見直し	11		
9.	環境活動の紹介	12	～	14

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者

小笠原マル昇株式会社
代表取締役社長 京極 恒弘

(2) 所在地

本社 〒433-8112 静岡県浜松市北区初生町922番地の3
磐田支店 〒438-0232 静岡県磐田市川袋470番地の1
資材センター 〒438-0216 静岡県磐田市飛平松200番地の4

(3) 会社設立

昭和23年 6月 株式会社 小笠原組
昭和56年 5月 一級建築事務所開設
昭和57年12月 小笠原マル昇株式会社に社名変更
昭和58年 9月 破砕コンクリートプラント開設
昭和59年 7月 宅地建物取引業開始
平成29年 1月 一級建築事務所閉鎖

(4) 事業活動の範囲

総合建設業

建設業許可番号 静岡県知事許可(特-26)第5833号
許可年月日 平成27年 3月11日

建設業の種類

土木工事業 建築工事業 大工工事業 左官工事業 とび土工工事業
石工事業 屋根工事業 管工事業 鋼構造物工事業 タイル・れんが・
ブロック工事業 鉄筋工事業 ほ装工事業 しゅんせつ工事業 板金工
事業 ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業 熱
絶縁工事業 造園工事業 建具工事業 水道施設工事業

宅地建物取引業

免許証番号 県知事許可(9)第5576号

静岡県浜松市排水設備工事指定工事人

登録番号 第245号

ISO9001認証登録 平成10年12月

登録番号 00760

登録の範囲 土木・建築構造物の設計・施工

産業廃棄物中間処理業・リサイクル処理業

(ア) 許可番号 県知事許可 第02221031835号

許可年月日 平成29年 1月10日

許可有効年月日 平成34年 1月 9日

処理施設の種類の

中間処分

破砕処分ーガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

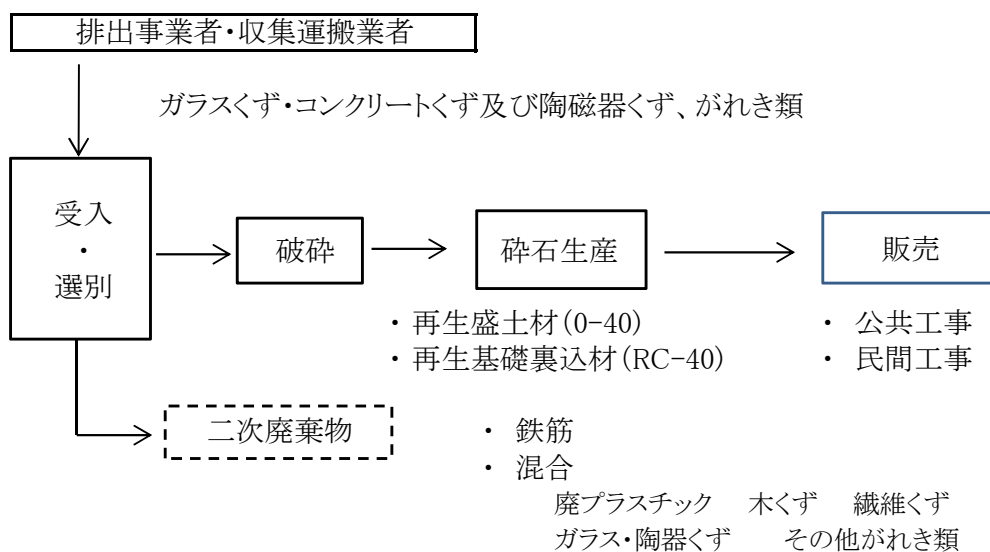
(イ) 施設等の状況

産業廃棄物の種類及び処理能力

ガラス・コンクリート及び陶磁器くず 224.00 t/日 (8.0時間)

がれき類 224.00 t/日 (8.0時間)

(ウ) 資材センター処理工程図



(エ) 処理料金 個別見積りによる

(5) 事業の規模

資本金	3,000	万円
完成工事高	1,246	百万円
役員	2	名
従業員	27	名
パート職員	1	名
本社社屋床面積	496	m ²
磐田支店社屋床面積	2,238	m ²
資材センター敷地面積	13,125	m ²
産業廃棄物中間処理実績(破碎処理)	27,515	トン
再資源化量	27,393	トン
最終処分量(委託)	35	トン
循環資源(鉄くず)	87	トン

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	三輪末廣	TEL	053-437-6101
担当者	杉山早那恵	Fax	053-437-6161
		URL:	http://www.ogasawara.co.jp/

(6)

事業年度	期首	7月 1日
	期末	6月30日

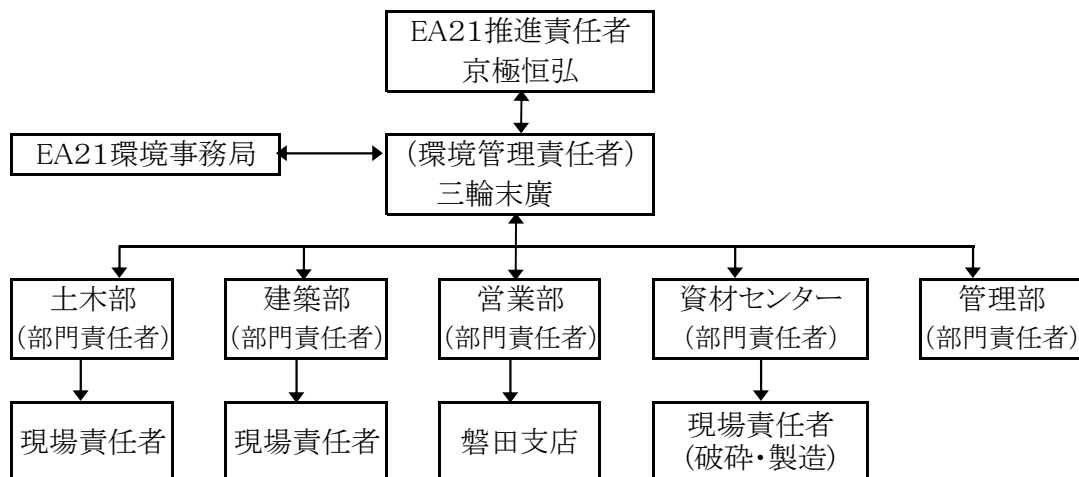
2-1. 認証、登録の対象範囲

- (1) 登録組織名
小笠原マル昇株式会社
- (2) 関連事業所
本社 ・ 磐田支店 ・ 資材センター
- (3) 活動
建設工事業
特定(土木, 建築, ほ装・管・しゅんせつ・造園・水道工事業)
宅地建物取引業
産業廃棄物処分業
- (4) レポート対象期間
平成28年7月～平成29年6月
- (5) 活動レポート発行日
平成29年7月
- (6) 作成責任者
三輪末廣

2-2. 実施体制

(1) 体制図

EA21環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために、実施体制、責任と権限を定め、全従業員に周知する。



(2) 責任及び権限

役 割	担 当 者	責 任 ・ 権 限
EA21推進責任者	代表取締役社長 京極恒弘 役員	① 環境経営に関する統括責任 ② 環境管理責任者の任命 ③ 資源調達 ④ 方針等の策定・見直し・及び全従業員への周知
環境管理責任者	三輪末廣	① 環境経営システムの実績を推進責任者に報告 ② 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 ③ 環境活動レポートの確認 ④ 環境経営マニュアルの承認
EA21事務局	三輪末廣	① 環境管理責任者の補佐 ② 環境活動レポートの作成、公開 ③ EA21の取り組みを推進する ④ 全従業員に対する教育訓練の実施
土木部	全土木部員	① 環境方針、目標の実施 ② 省資源、省エネの実行 ③ 近隣住民へ配慮した施工 ④ 自主的・積極的に環境活動へ参加
建築部	全建築部員	① 環境方針、目標の実施 ② 省資源、省エネの実行 ③ 近隣住民へ配慮した施工 ④ 自主的・積極的に環境活動へ参加
営業部	営業Ⅰ・Ⅱ課員	① 環境方針、目標の実施 ② 省資源、省エネの実行 ③ 自主的・積極的に環境活動へ参加
資材センター 破碎プラント	全従業員	① 環境方針、目標の実施 ② 省資源、省エネの実行 ③ 近隣住民へ配慮した施工 ④ 自主的・積極的に環境活動へ参加
管理部	全管理部員	① 環境方針、目標の実施 ② 省資源、省エネの実行 ③ データ管理 ④ 自主的・積極的に環境活動へ参加

基本理念及び環境方針

〔基本理念〕

小笠原マル昇（株）は、総合建設事業、リサイクル事業を主たる事業活動として
います。

その活動を通して、地球活動保護に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会の
構築を目指し、地域社会への貢献を図ります。

〔環境方針〕

1. 環境関連法律、法規を遵守します。
2. 電力、燃料の消費に伴うCO₂排出量の削減に努めます。
3. 事業活動における廃棄物排出の削減、再利用、再使用の推進に努めます。
4. 水資源の節水に努めます。
5. 地域貢献、ボランティア活動への参加をします。
6. 環境教育を実施します。
7. グリーン購入を推進します。
8. 化学物質の調査をし、適正な管理をします。
9. 環境負荷の低減につながる工法や作業を取り入れ、環境に配慮した施工を
行います。
10. 資材センター（再生砕石工場）においては、周辺環境に配慮した防塵対策
を実施します。
11. 環境活動レポートを社内外に公表しその達成に努めます。

以上、この環境方針を全従業員に周知し、快適な環境づくりを目指す。

制定日 平成24年 7 月 1 日

改定日 平成25年 7 月 1 日

小笠原マル昇株式会社
京 極 恒 弘

4. 環境目標

作成日	2017年6月25日
作成者	三輪末廣
承認者	京極恒弘

(1) 主な環境負荷の実績

平成26年度 二酸化炭素係数 0.497 (kg-CO₂/kWh)

項目	単位	平成23～26年度	平成27年	平成28年	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	192,177.0	186,619.7	186,669.3	
電力	kwh	103,605.0	111,998.0	102,640.0	
ガソリン	ℓ	31,886.0	26,354.0	25,827.5	
軽油	ℓ	26,169.0	26,097.7	28,311.5	
都市ガス	m ³	45.0	30.0	36.0	
廃棄物排出量	t	7,000.0	5,410.7	6,260.9	
一般廃棄物量	t	産廃に含めて集計	同左	同左	
水使用量	m ³	809.0	753.0	700.0	
下水使用量	m ³	295.0	218.0	218.0	
化学物質排出量 (PRTR法対象物質)	kg	—	—	—	
化学物質使用量	kg			17,562.0	
グリーン購入	%	グリーン購入を推進します。			
地域活動	件	3.0	5.0	6.0	

* コピー用紙は、以下の3種類の用紙を使用する。

元素塩素を使わない環境に配慮したECF用紙、間伐材を利用したエコペーパー、グリーン購入法適合のリサイクル用紙

* 平成28年から化学物質排出量から製品に含まれる化学物質の使用量に記載変更

(2) 中・長期目標

年度		単位	平成23～26年 基準値	平成28年 目標値	平成29年 目標値	平成30年 目標値
I	二酸化炭素排出量計	kg-CO ₂ 対基準	192,177.0	190,255.2 △ 1.0%	188,352.6 △ 1.0%	186,469.1 △ 1.0%
	電力消費量の削減	kwh 対基準	103,605.0	102,569.0 △ 1.0%	101,543.3 △ 1.0%	100,527.9 △ 1.0%
	ガソリン使用量の削減	ℓ 対基準	31,886.0	31,567.1 △ 1.0%	31,251.4 △ 1.0%	30,938.9 △ 1.0%
	軽油	ℓ 対基準	26,169.0	25,907.3 △ 1.0%	25,648.2 △ 1.0%	25,391.7 △ 1.0%
	都市ガス	m ³ 対基準	45.0	44.6 △ 1.0%	44.2 △ 1.0%	43.8 △ 1.0%
II	廃棄物排出量	t 対基準	7,000.0	7,000.0 ± 0	7,000.0 ± 0	7,000.0 ± 0
	一般廃棄物量	t 対基準	—	—	—	—
III	水使用量の削減	m ³ 対基準	809.0	800.9 △ 1.0%	792.9 △ 1.0%	785.0 △ 1.0%
IV	化学物質排出量	kg 対基準	— 適切な管理を継続	同左	同左	同左
V	グリーン購入	% 対基準	グリーン購入を推進します。			
VI	地域活動	件 対基準	3.0	3.0	3.0	3.0
VII	環境に配慮した施工	件 対基準	— すべての現場	— すべての現場	— すべての現場	— すべての現場

○基準年見直しまで、中電平成26年度実排出係数 (kg-CO₂/kwh) を使用する。

5-1. 環境活動計画

- 『 電力使用量の削減 』
 1. 空調温度の適正化
 2. 不用照明の消灯
 3. 空調の不用運転禁止
 4. 休日の主要電源停止

- 『 ガソリン軽油使用量の削減 』
 1. アイドリングストップ
 2. 急加速、急停止の防止
 3. 効率的な移動及び使用

- 『 産業廃棄物排出量の削減 』
 1. 産業廃棄物の適正処理
 - ・ 再資源化率の把握
 - ・ 分別の徹底
 2. 一般廃棄物分別の徹底
 - ・ 裏紙使用実態の把握

- 『 水使用量の削減 』
 1. 節水の周知徹底
 2. 洗車時の節水
 3. 散水等の使用水を効率よく行う

- 『 化学物質の適正管理 』
 1. 実態の把握
 2. 化学物質の保管、管理の徹底

- 『 グリーン購入等 』
 1. 環境に配慮した製品を選択する。
 2. 優先購入の実施

- 『 地域活動 』
 1. 河川里親制度実施
 2. ウェルカム等のクリーン作戦参加
 3. インターンシップの受け入れ

- 『 環境に配慮した施工 』
 1. 施工計画書にて省エネ提案
 2. 環境配慮型重機の使用

- 『 環境活動計画に基づく教育に実施 』
 1. 環境教育の実施

5-2. 環境活動計画

作成日	2017年6月30日
作成者	三輪末廣
承認者	京極恒弘

取組項目	取組内容	責任者	担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	備考		
電気使用量の削減	不在箇所や必要以上の照明器具を使用しない	管理責任者	事務局						通	年								
	夏場の温度設定を28℃に設定する																	
	冬場の温度設定を20℃に設定する																	
化石燃料使用量の削減	アイドリングストップの実施	管理責任者	現場責任者						通	年								
	急発進・急加速・急停車の禁止									通	年							
	過積載の防止										工事施工時							
	能力に見合った重機・車両を使用する										工事施工時							
	排気ガス規制の重機を使用する										工事施工時							
水使用量の削減	手洗い時の水使用量を減らす	管理責任者	現場責任者						通	年								
	使い終わったら、必ず蛇口を閉める									通	年							
	節水に心掛ける										通	年						
	漏水の点検																	
一般廃棄物量の削減	事務用品の両面利用の徹底	管理責任者	現場責任者						通	年								
	分別を行い、再利用できる物は、再利用する									通	年							
	使い捨て製品(紙コップ・紙タオル等)の購入を抑制する									通	年							
産業廃棄物の再利用及び減量	アスガラ・コンガラと土砂に分け、量を減らす	管理責任者	現場責任者						工事施工時									
	資材の発注・加工時には端材を減らすよう寸法の確認を行う									発注加工時								
	マニフェストにより適正処理を行う									工事施工時								
化学物質の削減	実態を把握して適正に対応する	管理責任者	事務局						現場	通								
グリーン購入の推進	エコ製品の調査	管理責任者	事務局						通	年								
	エコ用紙の購入									通	年							
地域への貢献	所属協会の主催するボランティア活動に参加する	管理責任者	現場責任者						所属協会	主催時								
	随時、会社周辺及び現場内の清掃を行う									工事施工時								
	段子排水路を見守る会(佐鳴湖浄化に繋げる)																	
設計、計画時の環境配慮	民間工事で再生材の使用の提案をする	管理責任者	現場責任者						工事	見積時								
	民間工事計画時に緑化の提案をする									工事	計画時							
環境に配慮した施工	工事検討会にて計画・提案の検討	管理責任者	現場責任者						工事	施工時	随時							
現場教育の実施	緊急時の対応について繰り返し対応方法を教育する。	管理責任者	現場責任者						月1回	全社	会議時							

6. 環境活動計画の取組み結果とその評価・次年度の取組み内容

2016年度環境活動計画と実績 (2016年7月～2017年6月)

環境取組と目標	平成23～26年 基準値	単位	今年度の取組み内容	実績値	達成率	評価
電力使用量の削減	基準年度比 削減率 目標値	98.0 % -2.0 kg-CO2 103,605 kwh	1. 空調温度の適正化 2. 不用照明の消灯 3. 空調の不用運転禁止 4. 休日の主要電源停止	102,640.0 kwh	100.9 %	◎
化石燃料使用量の削減	基準年度比 削減率 目標値	98.0 % -2.0 kwh 58,055 リットル	1. アイドリングストップ 2. 急加速、急停止の防止 3. 効率的な移動及び使用	54,139.0 リットル	107.2 %	◎
水使用量の削減	基準年度比 削減率 目標値	98.0 % -2.0 % 809 m3	1. 節水の周知徹底 2. 洗車時の節水 3. 散水等の使用水を効率よく使う	700.0 m3	115.6 %	◎
産業廃棄物排出量の削減	基準年度比 削減率 目標値	98.0 % -2.0 % 7,000 t	1. 産業廃棄物の適正処理 ・ 再資源化率の把握 ・ 分別の徹底 2. 一般廃棄物分別の徹底 ・ 裏紙使用実態の把握	6,261.0 t	111.8 %	◎
化学物質の適正管理			実態を把握して適正に管理する	該当現場すべてで実施	—	○
グリーン購入等	目標	リストアップして購入	1. 事務用品の購入品目調査 2. 実態の把握	達成品目/G購入品目 87品目/110品目	79.1 %	△
地域活動	目標	3件以上	1. 河川里親制度実施 2. ウェルカム等のクリーン作戦参加 3. インターンシップの受け入れ	6.0 件	+ 3	◎
環境に配慮した施工	すべての現場		1. 施工計画書にて省エネ提案 2. 環境配慮型重機の使用	すべての現場で実施中	100 %	◎
現場教育の実施			社内 定期的実施 現場 新規入場時に教育	計画表により実施 受入時教育で実施	100 %	○

※ 達成状況 ◎ : 良くできた △ : あまり出来なかった ○ : まあ出来た × : 全く出来なかった

次年度の取組みは、今年度と同様とします。また削減率等、数値化できない項目は数値での表現ができるように努力します。

7. 環境関連法規等の遵守状況及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【当社に適用される主な法規制等と遵守状況】		評価確認日
		平成29年06月25日
名称	具体的事項	
廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬・処理業者の許可確認	遵守
	産廃契約・マニフェストの管理	
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	
	自社運搬時の表示、書類携行	
建設リサイクル法	対象工事における再資源化の実施	該当無し
	(請負工事契約書による)	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出	該当無し
	低騒音型建設機械の使用	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出	該当無し
	排ガス対策型建設機械の使用	遵守
PRTR法	化学物質の自主的な管理の改善、環境保全上	適正
フロン排出抑制法	フロン漏えい防止のための空調機器の点検	点検表(3ヶ月毎)

環境関連法規等について、遵守状況をチェックしたところ違反、訴訟はありませんでした。

また過去3年間に当社業務に対して、外部からの環境上の苦情もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し記録

2017年 6月30日

見直しに必要な情報			代表者による見直し
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項
[取り組み状況の評価結果] ①環境関連法規は遵守しています。 違反等の問題は発生していません。 ②目標値の達成状況は、受注工事の増減による変動範囲内であると判断します。 ③クレーム等の不適合は発生しませんでした。 ④グリーン調達については、現場材料について今後一層の対応を検討していきたい。			[環境方針] 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ 同じ方針にて取り組む
[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)			[目標・活動計画] 変更の必要性: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・ 同目標、計画にて取り組む。
目標項目	目標値達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)
電力の削減	○	○	意識は高い
ガソリンの削減	○	○	エコドライブが定着している
廃棄物の削減	○	○	分別処理はできている
節水	○	○	意識は高い
化学物質の管理	○	○	保管は管理できている
グリーン調達	△	△	認識の不足あり
地域活動	○	○	意識が高く参加人員が増えている
環境配慮型施工	○	○	省エネ重機の使用、土工現場からの泥水の流失防止をしている
教育訓練	○	○	繰り返し教育が出来ている
[周囲の変化の状況] ・ 明治30年建造の掛塚灯台の延命化工事を特殊工法にて施工した。古くても価値あるものは、スクラップビルドではなく、修理して残していくことに価値があることを実感した。 施工にあたっては、試験施工の繰り返しにより精度の高い工事を目標とし、結果として良いものができた。			[総括] (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) ・ 全社員に数値目標を積極的に展開し、自覚を持って取り組み目標を達成させる。 ・ 各現場毎の取り組み方に差があるので、取り組み対応の差をなくしたい。 ・ 大型土木工事においては、ICT化施工(情報化施工)により測量業務の省力化、品質、出来形管理の効率化、安全性の向上等、無駄のない作業の効率化に努めている。 ・ 舗装工事においては、通常のアスファルト混合物に比べ、製造時の温度が、20～30° 低い中温化アスファルト化合物を使用した現場が2件に増え、Co2削減を実現している。 今後も工事現場でのCo2直接排出の大部分を占める建設機械の使用に当たっては、削減活動の基本としてアイドリングストップ・省燃費運転・重機車両の整備に重点を置き、より一層のCo2削減に努めていきたい。

保管：環境事務局

9. 環境活動の紹介

平成15年、河川・道路里親制度に登録(段子排水路を見守る会)

当初は社員、OBで行っていましたが、平成22年より地元自治会が参加したことで清掃活動に幅ができました。

下水路は当社のみで行い、歩道は地元の皆様と共同で清掃しています。

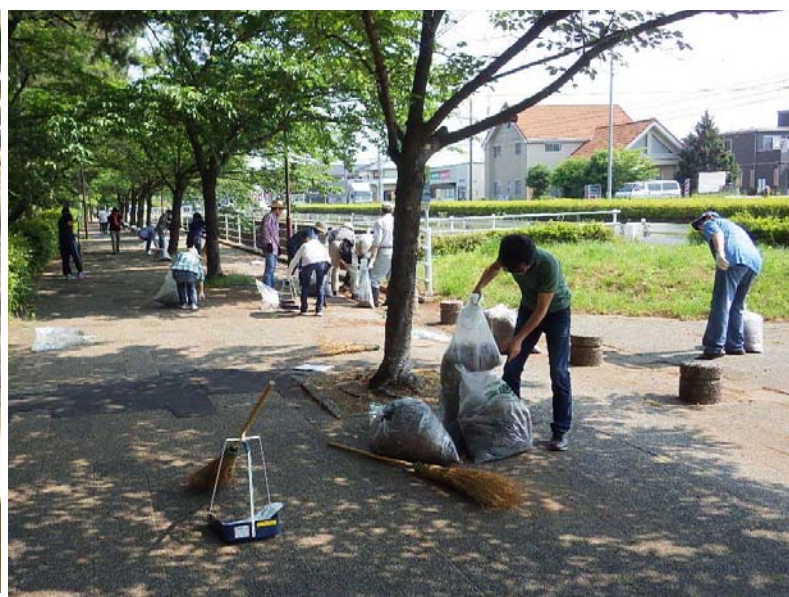
平成18年 河川愛護活動の貢献が認められ浜松市より感謝状を授与される

平成22年 社会貢献活動の寄与が認められ全国建設業協会より表彰される

平成24年 河川美化愛護普及活動の貢献が認められ静岡県河川協会より表彰される

平成25年 平成23年度横川磐田線舗装工事で地域貢献が認められ静岡県より表彰される

平成28年9月17日



平成28年12月1日



平成29年5月20日



他団体の環境活動に参加

磐田法人会社会貢献活動事務局 天竜川河川敷清掃及び竜洋海洋公園周辺清掃

遠州灘海浜の健全な利用と自然保護対策連絡協議会 ウェルカメクリーン作戦

国土交通省主催 小さな親切運動 天竜川クリーン作戦参加

小さな親切運動静岡県本部 使用済み切手収集活動に協力参加

平成27年、グリーンバンク(緑化推進)の賛助会員となり、地域の環境緑化の支援活動に参加

平成28年7月31日(日)

竜洋海洋公園周辺清掃

平成28年10月23日(日)

天竜川クリーン作戦 新村義美三輪社長

平成29年5月14日(日)

ウェルカメクリーン(遠州灘海岸)作戦

